

2021年度 事業報告書

衣料管理士(TA)関係

◆衣料管理士(TA)資格の認定・登録

	大学正会員卒業生 [2022年3月認定]	大学正会員卒業生 [2021年9月認定]	2021年度認定・登録者
1級	392名	0名	392名
2級	274名	0名	274名
計	666名	0名	666名

◆高校生へのTA広報

◇DVD「ファッションビジネスと衣料管理士」、ポスター、パンフレットによる高校生へのTA広報

- 全国約1,300校の高等学校の家庭科担当教員へ送付
- 会員大学のオープンキャンパスなどで活用

◇高校の関係組織との連携

- 全国高等学校長協会家庭部会（校長の組織）
 - ・出版物『家庭部会報』（購読者：校長・家庭科教員）へ広告掲載
 - ・会員名簿に広告掲載
- 全国高等学校家庭クラブ連盟（高校生・家庭科教員の組織）
 - ・出版物『Future Homemakers of Japan』（購読者：高校生・家庭科教員等）へ広告掲載
 - ・家庭クラブ研究発表大会の資料にTA広告掲載

◆大学新入生へのTA広報

- 『衣料管理士パンフレット』を製作し、会員大学新入生へ広報

◆企業・団体へのTA広報

- TAを紹介するための印刷物を製作し、TES試験を推奨している企業・団体へ広報

◆調査事業

＝衣料の使用実態調査＝

◇2020年度調査の実施分データの解析と報告書の刊行

- 調査対象者：28校、学生581人
- 依頼日：2020年11月12日
- 回収：2021年2月
- 報告書刊行：2022年2月（トピックス調査とまとめて1冊で刊行）

◇2021年度調査の実施

- 調査対象者：28校、学生581人
- 依頼日：2021年11月1日
- 回収：2022年2月
- 報告書刊行：2022年秋予定

＝トピックス調査＝

◇2020年度実施『コロナ禍における女子大生の行動変化に関する調査』のデータ解析と報告書の刊行

調査対象者：28校、学生581人

依頼日：2020年11月12日

回収：2021年2月

報告書刊行：2022年2月（衣料の使用実態調査とまとめて1冊で刊行）

◇2021年度調査『衣服と環境に関する調査』の実施

調査対象者：28校、学生581人

依頼日：2021年11月1日

回収：2022年2月

報告書刊行：2022年秋予定

＝衣料管理士の就職状況調査＝

調査対象者：2021年3月卒業の衣料管理士取得者

依頼日：2021年4月

◆研修事業

◇T A養成教員のブラッシュ・アップ講座

3月に北陸エリアへの見学・研修を予定していたが新型コロナウイルス感染症拡大のため中止した。

◆大学正会員関係

◇年次報告書審査

報告書提出：2021年6月末日

審査：大学審査プロジェクト（2021年8月6日開催）

第213回常任委員会（2021年10月2日開催）

第214回常任委員会（2022年2月18日開催）

結果の通知：2021年10月18日

◇主務教員会議の開催

開催日：2021年12月6日（月）13:00～13:40

会場：帝国ホテル東京 本館2階 菊の間

内容：□TAワーキングの報告

大塚美智子常任委員会委員長（日本女子大学）

□調査結果報告（調査部会）

「トピックス調査『コロナ禍における女子大生の行動変化に関する調査』」

講師：大橋正男常任委員

□協会からの報告

T A養成教員のブラッシュ・アップ講座

出席者：22名

◆『衣料管理士の集い』の活動への支援

■衣料管理士相互の情報交換

■勉強会、見学会による自己研さん活動

◇勉強会（オンラインにて開催）

日程	支部	内容
7月5日	3支部共通	衛生関連用品について
9月15日	3支部共通	スナップファスナーについて

11月25日	3支部共通	再生ポリエステルとこれからの服づくり
2月2日	3支部共通	化粧品の広告規制について

◇見学会

新型コロナの影響により実施することができなかった。

◆TA交流プロジェクトチームの活動

■目的：現場で活躍する衣料管理士が衣料管理士取得の意義、業界で役立つ知識などを、衣料管理士を目指す学生に伝え、学生の衣料管理士取得のモチベーションを高め、衣料管理士取得希望者を増やす。

■発 足：2017年7月4日

■メンバー：協会常任委員（衣料管理士資格者）、衣料管理士の集い幹事

◇TA交流会の実施

現場で働く衣料管理士が、学生に対して、仕事内容、これまでの業務経験、TAの知識が役立つエピソード、TA資格の意義、学生へのアドバイスなどを講演した。

今年度はコロナ禍のため対面ではなく、オンデマンド配信形式で実施した。講師5名の動画データをUSBメモリに入れ、養成大学27校へ配布した。配信期間は2022年10月末日まで。

◆TAワーキングの活動

■目的：TAにかかわる課題解決に向けて検討し、これからのTAのあるべき姿を探る。

■発 足：2020年10月3日

■メンバー：大塚美智子常任委員会委員長、牛田智常任委員会副委員長、藤田雅夫常任委員会副委員長、秋浜実和委員、小倉妙子委員、永野孝志委員、濱田仁美委員、諸岡晴美委員、島崎恒藏副会長、TAの集い幹事代表者など

■内 容：1. TAの質の向上のための検討

(1) 最終試験の導入

2023年度より、TA1級、TA2級ともに「最終試験」を実施することを決定した。ねらいは、①学生に対して卒業前に学生生活での学びを復習することで知識を整理し、より学びを深めてもらうこと、②試験を受けることで繊維製品にかかわる知識を備えていることを確認し、TAを取得したことに達成感と自信をもって社会で活躍してもらうことである。今期は、委員が最終試験問題を作成し、2022年度5月に各大学へ配布する。

(2) 「専修」衣料管理士の新設

2022年度より、①1級TAを取得し、②1級認定校における大学院での科目で、「材料」「加工・整理」「企画・設計・生産」「流通・消費」の4領域のうち2領域以上から、1級の協会認定登録科目の担当者が担当する大学院の科目を8単位以上修得している、③1級認定校における大学院で修士の学位を取得している者に対し、「専修」衣料管理士を認定することに決定した。ねらいは、より専門的に繊維・ファッション・流通・消費などの関連分野を学ぶ1級TAを取得した大学院生のモチベーションを高め、TA全体の質の向上のためである。

2. その他の検討事項

TA認定基準の見直し、TAの認知度向上のためのSNSの導入、企業と大学との情報交流会の開催などについて検討を開始した。

繊維製品品質管理士 (TES) 関係

◆繊維製品品質管理士(TES)資格の認定・登録

◇新規登録試験 (第40回)

出願者	試験合格者	2021年度認定・登録者
1,802名	301名	299名

◇登録更新試験 (対象: 第5期・第10期・第15期・第20期・第25期・第30期・第35期 T E S)

対象者	2021年度登録更新者	更新率
1,587名	1,282名	80.8%

[1,282名の内訳]

更新試験に合格した者	代替措置の適用が認められた者	更新した者 /3回以上の更新で合格扱いの者
668名	121名	493/592

◆代替措置: TES会等の活動に数多く参加したTESは登録更新試験に合格したものと扱う。

◆3回以上の更新で合格扱いの者: 3回以上の更新者は品質管理の実績があるものと認め登録更新試験に合格したものと扱う。

[繊維製品品質管理士の有資格者総数]

8,286名

[2022年4月15日現在]

◆TES制度の広報

- TESポスター・パンフレットを団体・企業・行政機関等へ送付してTES制度の広報依頼
 - ・ 繊維関係の業界団体・検査団体
 - ・ 繊維業界の企業
 - ・ ネット通販・EC企業
 - ・ 国民生活センター、消費者センター、繊維工業試験場など行政機関
 - ・ 教育機関 (大学・専門学校他)
- 専門紙、学会誌などへTES試験実施要項を掲載して広報
織研新聞、繊維学会誌、日本繊維製品消費科学会誌等
- 企業訪問によるTES広報
企業や団体などの役員、能力・人材開発責任者にTESをPRし、受験の推奨を依頼。

◆TES受験テキストの発刊

- 過去問題集 (3年分) 発刊 (12月)
2019年度～2021年度分をまとめて発刊した。

◆TES試験の変更事項

- 新型コロナウイルス感染症に伴う緊急事態宣言発出により、5月20日の出願の受付締め切りを5月28日まで延長した。

◆苦情衣料品収集プロジェクトチーム

JIS L 0001に基づく苦情品収集のため、TES会各支部より事例を収集した。

◆TES将来構想プロジェクト

- 目的：中長期的な視野に立ち、これからのTESのあるべき姿、制度、試験内容などについて検討する。
- 発 足：2020年12月5日
- メンバー：島崎恒藏副会長、永野暁副会長、藤田雅夫常任委員会副委員長、金森久宙委員、清嶋展弘委員、永野孝志委員
- 検討内容：TES 試験の内容について検討し、次回テキストの改訂（2023年10月発刊予定）につなげる。
- 開催日：第3回：7月23日（金）
第4回：10月2日（土）
第5回：12月17日（金）
第6回：2022年3月11日（金）

◆TES会活動への支援

- 東日本・中部・西日本・北陸・中国支部および九州会の活動を支援する。
 活動内容は、①自己研さん、②TES相互の情報交換、③行政との連携など。
 ◇研修会、講演会、見学会など自己研さん活動

<東日本支部>

行事	開催日	人数	内 容
年次大会	6月	中止	
2020.2021 年 合同新会員歓迎会	12月15日	80名	・TES一年目に習得したいテキスタイルケアに関するお話
苦情処理検討会	7月8日	100名	・Si/Wストール ・パウダリーシフォンワンピース ・コロナ禍のクリーニング業界
	9月15日	66名	・PU飛び出し(補正下着) ・摩耗(紳士カジュアルシャツ) ・JIS T 9001/9002マスクの性能要件及び試験方法
	11月4日	143名	・アステックス染料 ブラウス ・滑脱 紳士ジャケット ・インドネシアの現状～コロナ禍下規制における検査、ものづくり、生活について
	3月25日	97名	・コートしわ ・カーディガンの移染 ・アパレル各社への提供を目指すファッションレンタルプラットフォーム戦略について
クミボウ研	6月22日	34名	・(株)三幸社 工場見学&講演
	11月9日	21名	・カラキヤ洗染(株)見学
	3月17日	25名	・クリーニング事故事例について
ライフサイクル研究会	4月20日	83名	・ポリエステル裏地染色 組み合わせや相性による裏地問題発生事例
	9月29日	56名	・スポーツウェアと機能性
	10月19日	134名	・アパレルの品質管理について—企画・生産現場での対応事例—

	11月16日	31名	(試験上映会) 2021年9月29日に開催された【講座】スポーツウェアと機能性試験上映会
	3月16日	126名	・コロナ後のアパレル生存戦略

<中部支部>

行事	開催日	人数	内 容
年次大会	6月12日	中止	
新会員歓迎会	1月29日	74名	・百貨店における品質管理部門の役割
クレーム勉強会	4月15日	29名	・クレーム事例検討：(一財)ニッセンケン品質評価センター
	8月20日	32名	・クレーム事例検討：(一財)日本繊維製品品質技術センター
	10月15日	31名	・クレーム事例検討：(一財)ケケン試験認証センター
	12月17日	40名	・クレーム事例検討：(一財)カケンテストセンター
基礎セミナー	7月24日	71名	・価値の創造とソーシャルサステナビリティ
	11月13日	76名	・繊維業界におけるサステナブル・ラベル協会
	3月26日	65名	・JIS及びISO規格開発の動向とケアラベルの改正について

<西日本支部>

2021年度は、コロナ感染拡大もあり、工場見学会と品質問題研究会を合体した併催形式で実施した。

行事	開催日	人数	内 容
年次大会	5月21日	中止	
新会員歓迎会	2月4日	中止	
工場見学会 & 品質問題研究会 併催	11月26日	来場40名 リモート34名	・機能性試験について ・最近の小売業が注力している品質管理のポイント その現状
	3月25日	リモート69名	・変態ラメ糸メーカーへのものづくり ・アパレル製品の洗濯とメンテナンス
繊維勉強会	7月27日	来場 33名 リモート34名	・今さら聞けないSDGs基本の「き」 ・日本発、燃やしてもエコなプラスチック始めました
	10月22日	リモート56名	・環境に配慮した合成皮革 ・繊維産業のサステナビリティの動向とエコテックス®認証
	2月4日	リモート81名	・不織布の基礎と現状 ・織物の基礎知識

<北陸支部>

行事	開催日	人数	内 容
年次大会	6月26日	リモート78名	・快適性評価技術を活用した東洋紡製品の開発事例紹介 ・インドネシアに染色工場を創る
2020年度 新会員歓迎会	5月22日	リモート 89名	・スポーツウェアの機能開発 ・アパレルの品質管理とポリエステル素材を主体とした苦情事例

2021年度 新会員歓迎会	12月11日	リモート110 名	・経編の基礎知識とレディースインナーについて ・GREEN IS GOODサステナビリティの探求
繊維製品品質 管理基礎講座	3月12日	リモート 55名	・苦情事例の原因と対策について
品質と技術に 関する講演会	10月23日	リモート 100名	・百貨店における衣料品の品質管理部門の役割 ・ポリウレタン樹脂の基本・応用・耐久性

<中国支部>

行事	開催日	人数	内 容
新会員歓迎会	4月17日	38名	・新会員歓迎会・特別講演会 ・東レの新機能繊維開発動向
年次大会 第一回勉強会	10月30日	37名	・快適性評価技術を活用した東洋紡製品の開発事例 ・地域産業の活性化事例
工場見学会	11月26日	30名	セイショク(株)工場見学

<九州会>

行事	開催日	人数	内 容
講演会	8月6日	10名	・繊維製品の苦情品は何故なくなるのか

◇TES会「品質情報展」本部企画会議

品質情報展開催に向け、事故事例パネルの作成、配布物、事故品現物などを収集した。また、検査団体等8団体に協賛いただき、各団体の特長および得意としている試験方法などをパネルで紹介していただく。

- 開催日 第2回：4月25日（日）
- 第3回：5月30日（日）
- 第4回：7月18日（日）
- 第5回：9月19日（日）
- 第6回：11月5日（金）
- 第7回：12月10日（金）
- 第8回：2022年1月14日（金）

◇TES会代表幹事会

今期は、当協会創立50周年記念行事として、「TES品質情報展」を各支部で企画・推進するため、代表幹事会という形式ではなく、「TES品質情報展 各支部との会議」として代表幹事を中心に検討を加え、実施に向けて準備した。しかし、新型コロナの感染拡大を受け、2022年度に延期となる。

- 開催日 第1回：7月18日（日）
- 第2回：9月25日（土）
- 第3回：11月13日（土）
- 第4回：2022年1月21日（金）

◇経済産業省生活製品課とTES会代表幹事との情報懇談会

3月に予定していたが新型コロナの影響により中止した。

◇『TES会通信』の発行（偶数月）

TES会各支部の行事の案内および開催結果報告をまとめ、TES会員へ情報提供する。

創立50周年記念事業関係

■ 目的：2021年12月6日に迎える創立50周年記念事業を推進する。協会の理念や歩みを振り返り、今までご尽力いただいた方々に感謝するとともに、未来に向けての更なる発展のきっかけとする。

■ 発 足：2020年9月10日

■ メンバー：責任者：小林茂雄会長

マネージャー：島崎恒藏副会長、永野暁副会長

メンバー：大塚美智子常任委員会委員長、牛田智常任委員会副委員長、藤田雅夫常任委員会副委員長、各リーダー

■ 内 容：次のリーダーを中心に関連事業を推進したが、新型コロナの影響でTES品質情報展は2022年度へ延期、海外研修旅行は2022年度～2023年度に延期して実施することとなる。

	内 容	リーダー	担当部会
1	記念式典・講演会・祝賀パーティー	藤田雅夫常任委員会副委員長	
2	功労者表彰	牛田智常任委員会副委員長	大学・TA・TES部会
3	記念品	大塚美智子常任委員会委員長	
4	50周年記念誌「協会のあゆみ」	大谷芳男理事	出版部会
5	バーチャル工場見学会	秋浜実和委員	TA部会
6	品質情報展＋ミニ講座	永野暁副会長	TES部会
7	海外研修旅行	丸山尚夫委員	研修・大学部会
8	広報	濱田仁美委員	

※調査部会で計画していた国際調査はコロナで中止となる。

■ プロジェクト会議開催日

第4回：4月19日（月）

第5回：5月28日（金）

第6回：7月23日（金）

第7回：9月8日（水）

第8回：10月1日（金）

第9回：11月1日（月）

■ 50周年記念式典・記念講演会・祝賀会について

12月6日（月）に、帝国ホテル東京 本館2階「孔雀の間」において、延べ180名の参加を得て開催した。

当日は、藤田雅夫副委員長を統括責任者に、多くの常任委員、TAの集い幹事、TES会幹事にご協力いただいた。

		内容	会場
13:00～13:50	主務教員会議	22名	連絡事項
14:00～14:50	記念式典	168名	①小林茂雄会長挨拶（10分） ②来賓祝辞（案）（15分） ・経済産業省 製造産業局 生活製品課課長 永澤 剛氏 ・日本アパレル・ファッション産業協会 理事長 大澤道雄氏 ・繊維学会 会長 荻野賢司氏
			菊の間 孔雀西の間 【控室】 千鳥の間

			③50年の活動報告：島崎恒藏副会長（15分） ④表彰（10分）…代表者への授与 【感謝状】 ・TES 奨励企業：(株)コール社長 伊東知康氏 【表彰状】 ・委員：文化学園大学 田村照子名誉教授 ・TA：(株)阪急クリエイティブサポート 村本祐子氏 ・TES：倉敷アクション研究所 吉村恒夫氏 ・50周年特別：名古屋文化短期大学 成瀬正春学長	
15:00～16:00	記念講演	172名	「2030年のあるべき繊維産業への提言」 日本繊維産業連盟 副会長兼事務総長 富吉 賢一氏	孔雀西の間 【控室】 千鳥の間
16:20～18:00	祝賀会	160名	着席ビュッフェ形式 ・乾杯の音頭：デサトジャパン(株)社長 小川典利夫氏 ①受賞者インタビュー ・村本祐子氏（(株)阪急クリエイティブサポート） ・小川きぬえ氏（コンサルティングサービス カガリ） ・城島栄一郎氏（実践女子大学名誉教授） ②TA「バーチャル工場見学」放映 ③TA 交流プロジェクト放映 ④TES 品質情報展紹介	孔雀東の間
18:00	中締め			

その他の活動

◆会報の発行

- ・第192号（4月1日発行）
- ・第193号（7月1日発行）
- ・第194号（10月1日発行）
- ・第195号（2022年1月1日発行）

◆『ミニ情報』の発行

- ・第38巻1号（4月1日発行）
- ・第38巻2号（6月1日発行）
- ・第38巻3号（8月1日発行）
- ・第38巻4号（10月1日発行）
- ・第38巻5号（12月1日発行）
- ・第38巻6号（2022年2月1日発行）

購読資格：会員限定

内 容：行政〔経済産業省、消費者庁、内閣府、文部科学省等の関係情報〕

抄録〔規格関係・素材・加工・アパレル・流通・クリーニング・消費・クレーム
・品質管理の分野の最新情報〕

行事〔学会、団体、業界等が主催する行事の情報〕

発 行：偶数月の1日

◆関係団体との連携

■公益財団法人スガウエザリング技術振興財団へ委員派遣

「2020年度（令和2年度）染色堅ろう度関係JIS改正原案作成委員会」

（松村正明氏を派遣 任期：2021年12月31日まで）

■一般社団法人繊維評価技術協議会へ委員派遣

「繊維製品の取扱いに関する表示記号等に関するJIS開発」

（近藤美文事務局長を派遣 任期：2023年2月末日まで）

■大学間連携（信州大学、福井大学、京都工芸繊維大学）共同教育推進事業『繊維系大学連合による次世代繊維・ファイバー工学分野の人材育成』に運営委員として参画

（運営委員として清嶋展弘委員を派遣 任期：2022年3月31日まで）

■日本繊維製品・クリーニング協議会へ委員派遣

（大橋正男委員を派遣 任期：2022年6月総会まで）

■繊維の製造・加工・流通関係団体（全国・地方）、検査機関等との連携